



2023年度

新涯6号線5号橋

福山市新涯町二丁目地内

橋 梁 修 繕 工 事 実 施 設 計 書

工  
事  
概  
要

工事延長  $L=8.7\text{m}$   
橋長  $L=2.0\text{m}$   
有効幅員  $W=4.1\text{m}$   
床版取替工  $N=4$ 枚  
ひび割れ補修工  $L=0.6\text{m}$   
断面修復工  $A=1\text{m}^2$   
舗装工  $A=1.3\text{m}^2$   
地覆工  $L=2\text{m}$

## 特記仕様書

### 第1章 総則

#### 第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（新涯6号線5号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類  
「令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない

#### 第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

#### 第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

#### 第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

#### 第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

#### 第6節 現場代理人の常駐義務の緩和

- 現場代理人の工事現場への常駐義務緩和については、一定の要件を満たすと発注者が認める場合（※）とします。
- （※）一定の要件を満たすと発注者が認める場合とは発注者との連絡体制を確保した上で、次のアからエのいずれかの条件に該当する場合です。
- （必要に応じ、工事打合せ簿で協議により承諾を受けていること。）
- ア 現場作業着手前までの期間
  - イ 工事の施工が一定期間、全面的に行われていない期間
  - ウ 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
  - エ 工事現場が完了した後、竣工検査までの期間

#### 第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

#### 第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

#### 第9節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

#### 第10節 再生資源利用計画の現場掲示

- 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

## 第2章 材料

### 第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

## 第3章 施工条件

### 第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：福山市上下水道局工務部管路整備課
- ・協議内容：工事箇所付近の地下埋設物（配水管）について
- ・協議先機関名：福山瓦斯株式会社
- ・協議内容：工事箇所付近の地下埋設物（ガス管）について
- ・協議先機関名：福山市上下水道局施設部水づくり課
- ・協議内容：工事に伴う雨水幹線の水位調整について

### 第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

### 第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

### 第4節 建設副産物について

- (1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
- 1 建設廃棄物処理計画書
    - ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
    - ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
    - ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
    - ・各処分場の現地確認写真
    - ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
  - 2 再生資源利用計画書
  - 3 再生資源利用促進計画書
- (2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
- 1 再生資源利用実施書
  - 2 再生資源利用促進実施書
  - 3 建設廃棄物処理実施書
    - ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し  
(マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。)
    - ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

## 第5節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

## 第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。の受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

## 第7節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

## 第4章 その他

### 第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

### 第2節 現場標示板等について

- 「第20 回世界バラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。
- ・使用するロゴは「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
  - ・「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
  - ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
  - ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
  - ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。
- （デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-06.02.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁床版工	1	式			Y1G0318 レベル2
床版取替工	1	式			Y1G031805 レベル3
床版取替	1	式			Y1G03180501 レベル4
		t			
床版据付工 床版 750kg ~ 1000kg未満	3	枚			V0001 00 単第0 -0001 表
床版据付工 床版 1250kg ~ 1500kg未満	1	枚			V0002 00 単第0 -0002 表
ゴム支承 クロロブレンゴム 単層 t=20mm	2	m2			F0000000008 00
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	5	孔			SPK23040118 00 単第0 -0003 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t未満	0.004	t			SS000099 00 単第0 -0004 表
橋台工	1	式			Y1E0505 レベル2
作業土工	1	式			Y1E050501 レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1E05050102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	2	m3			SPK23040015 00 単第0 -0005 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05050103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	0.9	m3			SPK23040020 00 単第0 -0006 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05050111 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)	0.8	m3			SPK23040002 00 単第0 -0007 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
残土等受入費 リサイクルプラント搬入 土砂	0.8	m3			F0000000011 00
橋台嵩上工					Y1E050508 レベル3
	1	式			
橋台嵩上 【Co規格,養生費,Co夜間割増の有無】					Y1E05050803 レベル4
		m3			
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1	m3			SPK23040154 00 単第0 -0008 表
型枠 一般型枠 小型構造物	8	m2			SPK23040156 00 単第0 -0009 表
鉄筋工 SD345_D16 ~ D25 一般構造物 [規]10t未満	0.007	t			SS000099 00 単第0 -0004 表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	18	孔			SPK23040118 00 単第0 -0003 表
あと施工アンカー 樹脂系 ケミカルアンカーレジンカプセル相当品	18	本			F0000000012 00



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
ひび割れ補修工					Y1G032404 レベル3
	1	式			
充てん工法 【材料種類】					Y1G03240401 レベル4
		構造物			
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合					S1020031 00
	1	構造物			単第0 -0010 表
低圧注入工法 【材料種類】					Y1G03240402 レベル4
		構造物			
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合					S1020035 00
	1	構造物			単第0 -0011 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】					Y1G03240501 レベル4
		構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合					S1020043 00
	1	構造物			単第0 -0012 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工					Y1G0304 レベル2
	1	式			
舗装打換え工					Y1G030402 レベル3
	1	式			
下層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1G03040207 レベル4
		m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30					SPK23040232 00
	3	m2			単第0 -0013 表
上層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1G03040208 レベル4
		m2			
不陸整正 補足材料有り RM-30 補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満					SPK23040231 00
	10	m2			単第0 -0014 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工					SPK23040234 00
	3	m2			単第0 -0015 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1G03040211 レベル4
		m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm					SPK23040241 00
	13	m2			単第0 -0016 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
水切工					Y1G032103 レベル3
	1	式			
水切 【規格】					Y1G03210302 レベル4
		m			
水切 水切りアイドリップ相当品					F000000009 00
	3	m			20m/箱
地覆工					Y1G032104 レベル3
	1	式			
場所打地覆 【形状寸法】					Y1G03210401 レベル4
		m			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設					SPK23040154 00
	0.2	m3			単第0 -0017 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					SPK23040156 00
	1	m2			単第0 -0018 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満					SS000099 00
	0.01	t			単第0 -0019 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t未満	0.01	t			SS000099 00 単第0 -0020 表
防護柵工	1	式			Y1G0307 レベル2
路側防護柵工	1	式			Y1G030701 レベル3
ガードレール 【Gr規格,施工規模,曲線部補正】		m			Y1G03070101 レベル4
防護柵設置工(Gr) コンクリート建込 - 塗装品_Gr-B-2B [規]21m未満	3	m			SS000123 00 単第0 -0021 表
標準型ガードレール(路側用,Co建込) Gr-C-2B-2(250mm埋込み) 塗装(白色)	3	m			TH004190 00
防護柵設置工(Gr) 土中建込 - 塗装品_Gr-B-4E [規]21m未満	5	m			SS000121 00 単第0 -0022 表
コンクリート 小型構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	0.08	m3			SPK23040154 00 単第0 -0023 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.8	m2			SPK23040156 00 単第0 -0009 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
防護柵撤去工					Y1G032701 レベル3
	1	式			
防護柵撤去(ガードレール)					Y1G03270101 レベル4
		m			
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)					SS000127 00
	8	m			単第0 -0024 表
構造物取壊し工					Y1G032706 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】					Y1G03270601 レベル4
		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00
	0.6	m3			単第0 -0025 表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					SDT00033 00
	2	m3			単第0 -0026 表
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】					Y1G03270602 レベル4
		m			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	10	m			SPK23040306 00  単第0 -0027 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1G03270603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	21	m2			SPK23040018 00  単第0 -0028 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	0.7	m3			SPK23040152 00  単第0 -0029 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	2	m3			SPK23040152 00  単第0 -0030 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離2.5km以下(1.5km超)	1	m3			SPK23040152 00  単第0 -0031 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
コンクリート殻受入費 再資源化施設搬入 無筋	2	t			T9005 00 1
コンクリート殻受入費 再資源化施設搬入 鉄筋	6	t			F000000010 00
アスファルト殻受入費 再資源化施設搬入	3	t			T9006 00 1
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	14	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

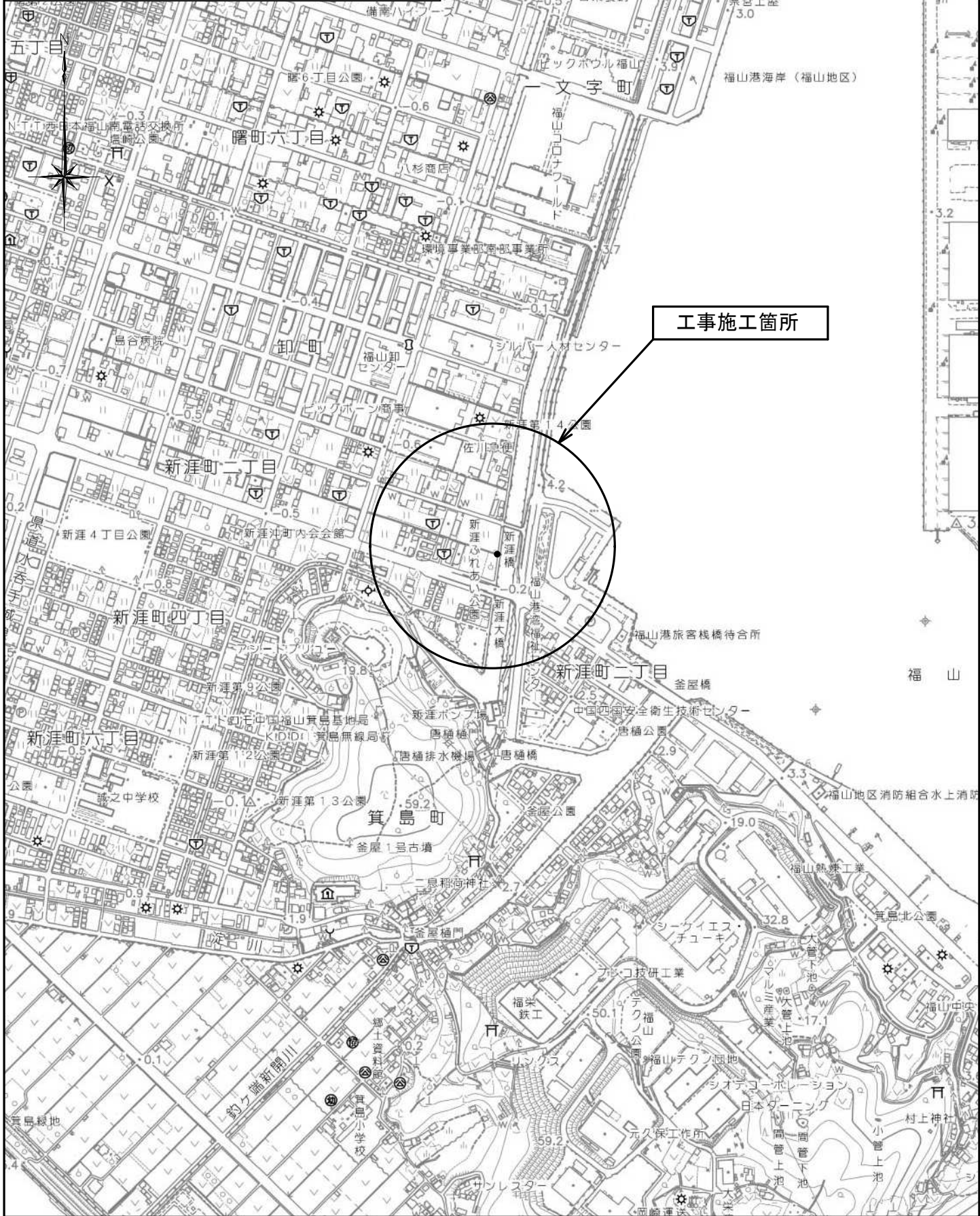
# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					





図面番号	1 / 5	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	新漕 6号線 5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福 山 市</b>			



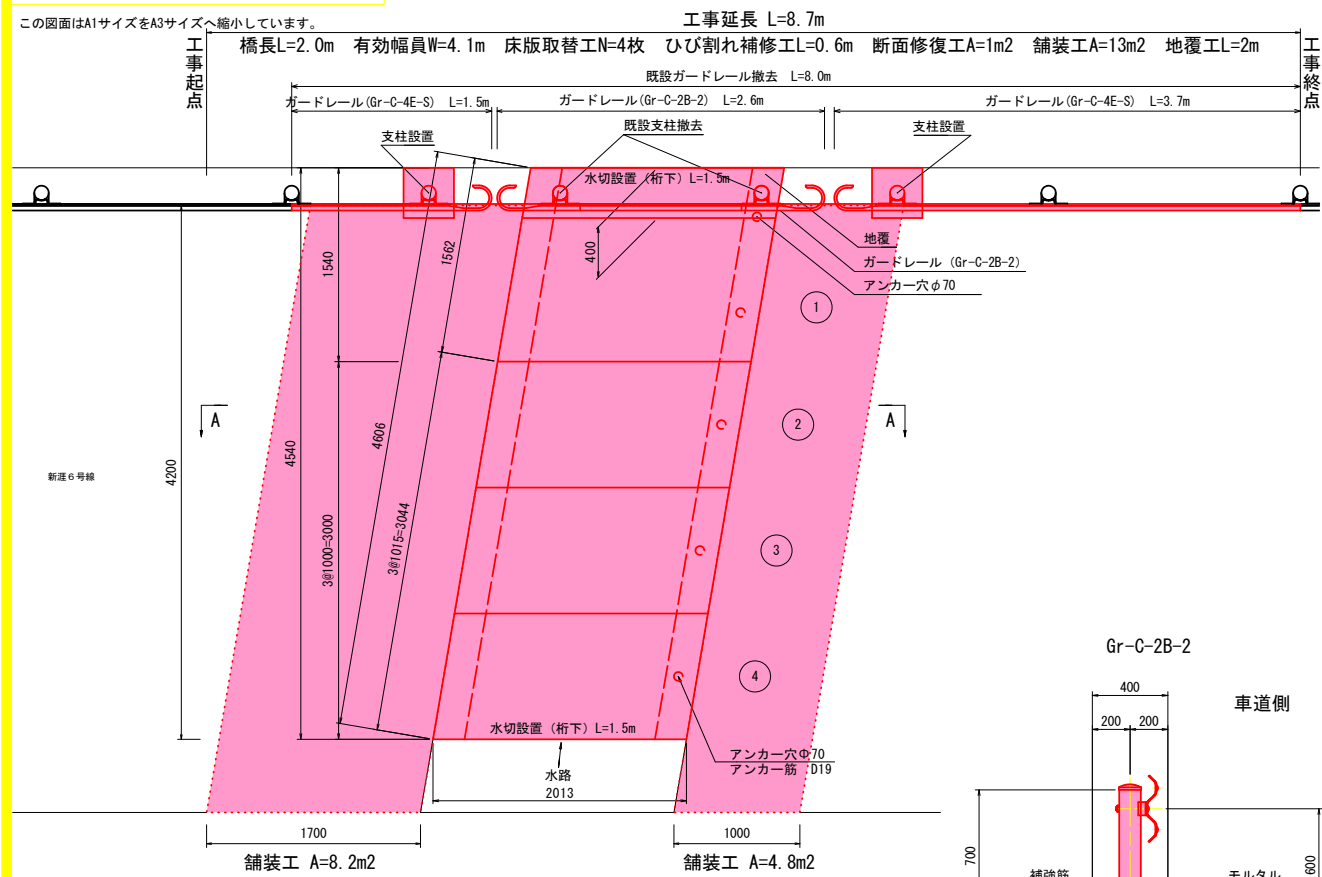
図面番号	2 / 5	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	床版割付図	番	1 / 1
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		



# 新漕6号線5号橋 補修詳細図

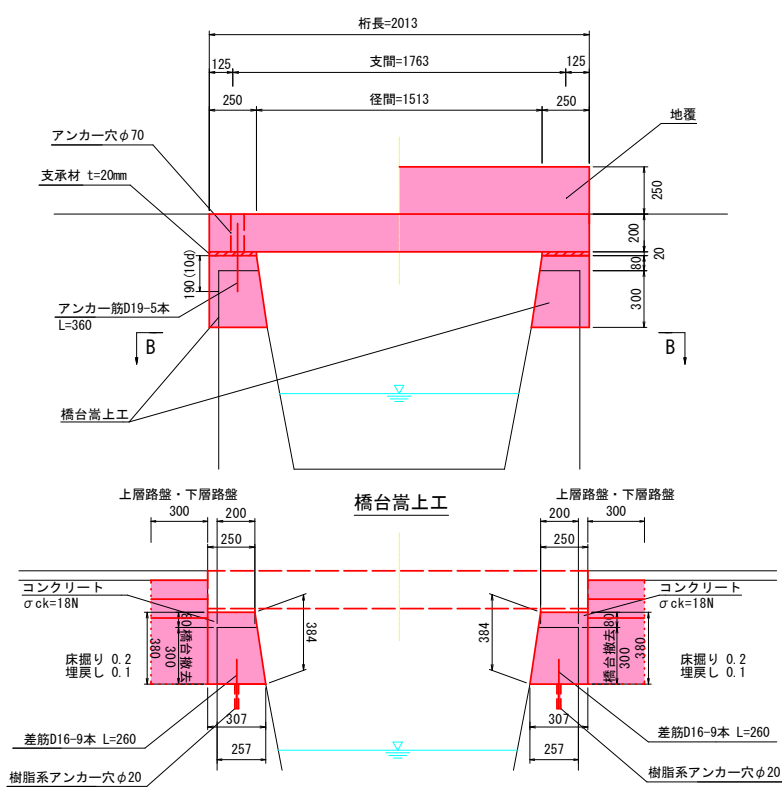
## 床版割付図 T-20

平面図  
S=1:30

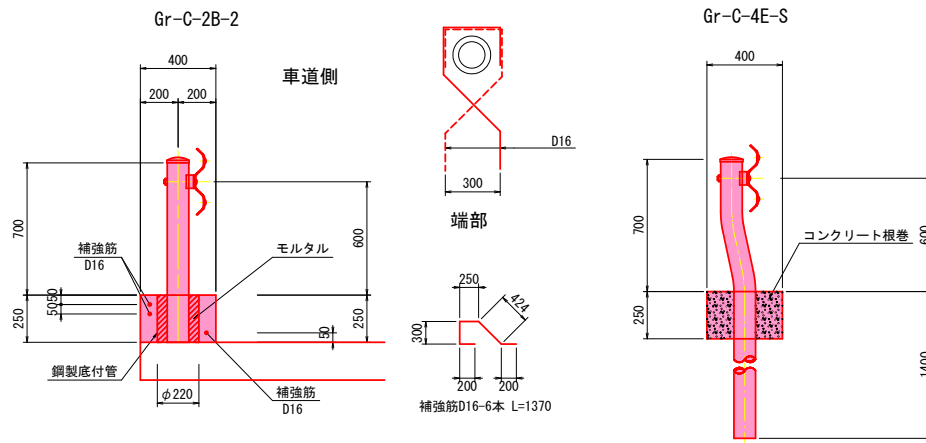


※各床版間に緩衝材(3mm)を設置すること。  
※製品幅には緩衝材寸法3mmを見込んでいます。

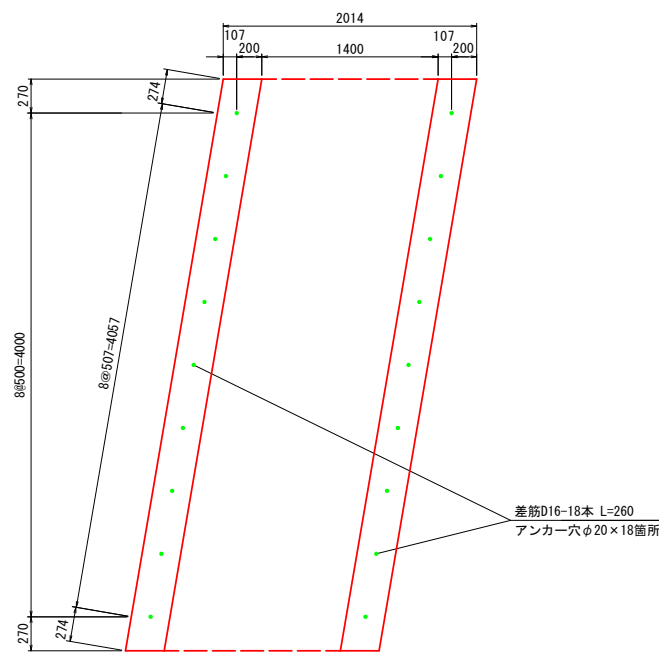
A-A断面図  
S=1:20



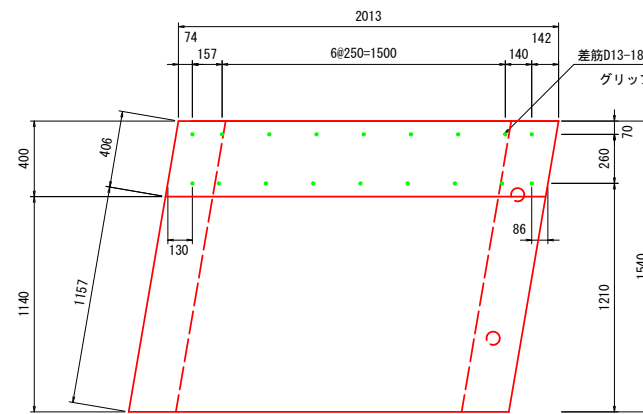
ガードレール詳細図 S=1:20



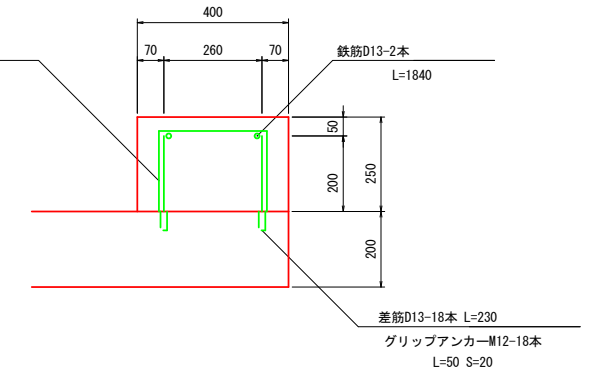
B-B  
S=1:30



差筋詳細図  
S=1:20



地覆詳細図  
S=1:10



床版工数量表

細別	規格	計算式	数量	単位	備考
床版 T-20 (L)2013	(B)1000×(t)200 アンカー穴		3	枚	2~4
	(B)1540×(t)200 アンカー穴 差筋付		1	枚	1
合計			4	枚	
支承材	t=20mm	0.25×4.540×2	2.3	m <sup>2</sup>	
コンクリート削孔	削孔深さ190mm		5	孔	
アンカー筋	D19 SD345 L=360	0.36×5×2.25	4.050	kg	

橋台嵩上工数量表

細別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σ <sub>ck</sub> = 18N/mm <sup>2</sup>	(0.25+0.307)×1/2×0.38×4.540×2	1.0	m <sup>3</sup>
同上型枠		[(0.25+0.307)×1/2×0.38×2+(0.38+0.384)×4.606]×2	7.5	m <sup>2</sup>
差筋	D16 SD345 L=260	0.26×18×1.56	7.301	kg
コンクリート削孔	削孔深さ130mm φ20		18	孔
あと施工アンカー	樹脂系 アンカー-D16用		18	本
床掘り		0.2×4.540×2	1.8	m <sup>3</sup>
埋戻し	流用土	0.1×4.540×2	0.9	m <sup>3</sup>
下層路盤	RC-30 t=10cm	0.30×4.540×2	2.7	m <sup>2</sup>
上層路盤	RM-30 t=10cm	0.30×4.540×2	2.7	m <sup>2</sup>

地覆工数量表

細別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σ <sub>ck</sub> = 24N/mm <sup>2</sup>	0.25×0.40×2.013	0.2	m <sup>3</sup>
同上型枠		[(0.25×0.406)+(0.25×2.013)]×2	1.2	m <sup>2</sup>
鉄筋	D13 SD345	[(1.84×2)+(0.66×9)]×0.995	9.572	kg
	D16 SD345	1.37×6×1.56	12.823	kg
ガードレール	Gr-C-2B-2		2.6	m

ガードレール数量表

細別	規格	計算式	個数	単位
ガードレール	Gr-C-4E-S	1.5m+3.7m	5.2	m
コンクリート根巻	σ <sub>ck</sub> = 24N/mm <sup>2</sup>	0.40×0.40×0.25×2	0.08	m <sup>3</sup>
同上型枠		(0.25×0.40)×4×2	0.8	m <sup>2</sup>

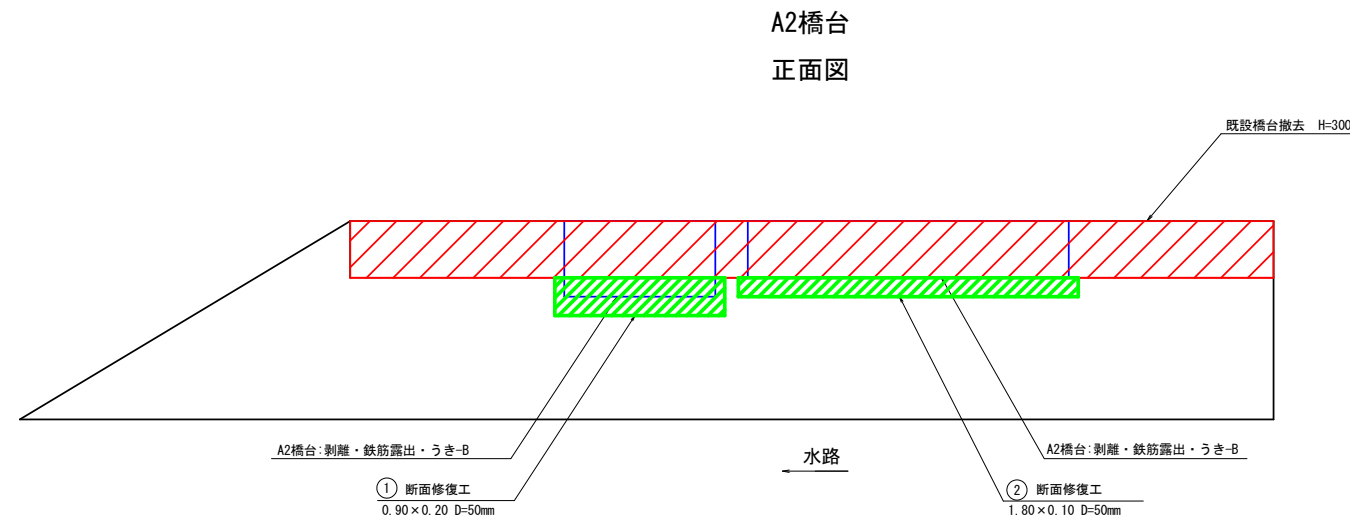
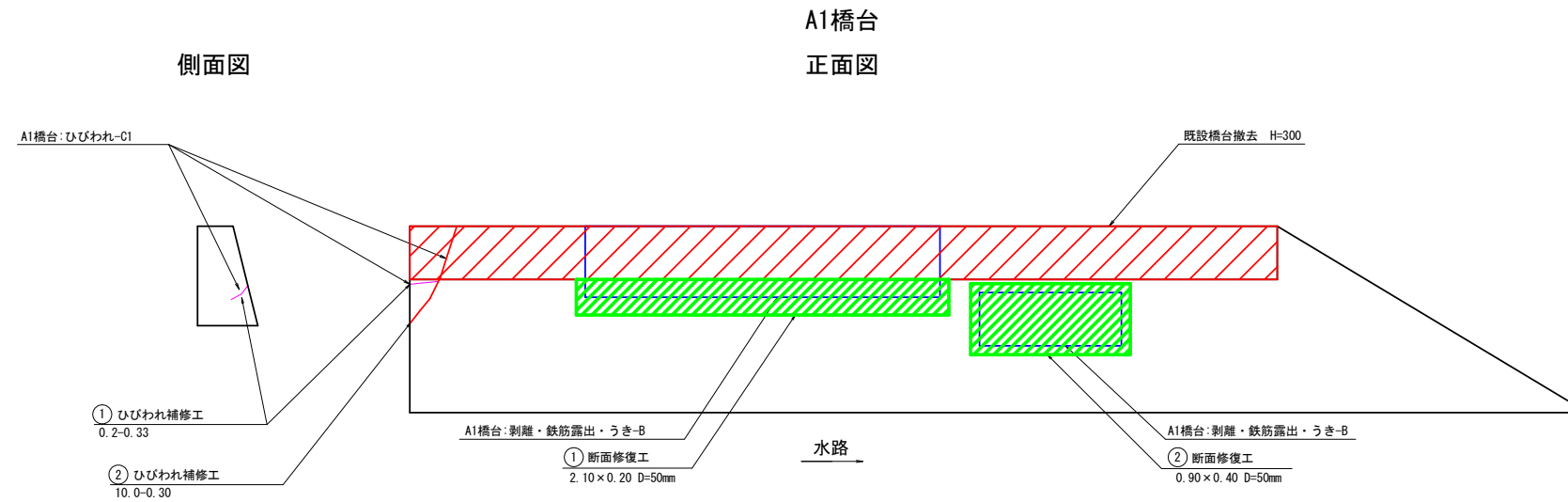
注記) 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後施工を行うこと。

図面番号	3 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(1)	番号	1 / 2
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福山市</b>			



## 新漕6号線5号橋 補修図(その1) S = 1:20

この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。



注記) 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後施工を行うこと。  
床版工は、掛替を行うため補修数量を計上しない。

### 凡例

	長さ (m)	ひびわれ注入工	0.2mm ≤ W < 0.5mm
	長さ (m)	ひびわれ注入工	0.5mm ≤ W < 1.0mm
	長さ (m)	ひびわれ充填工	W (mm) / L (m)
	断面修復工	W (m) × L (m)	D (mm)

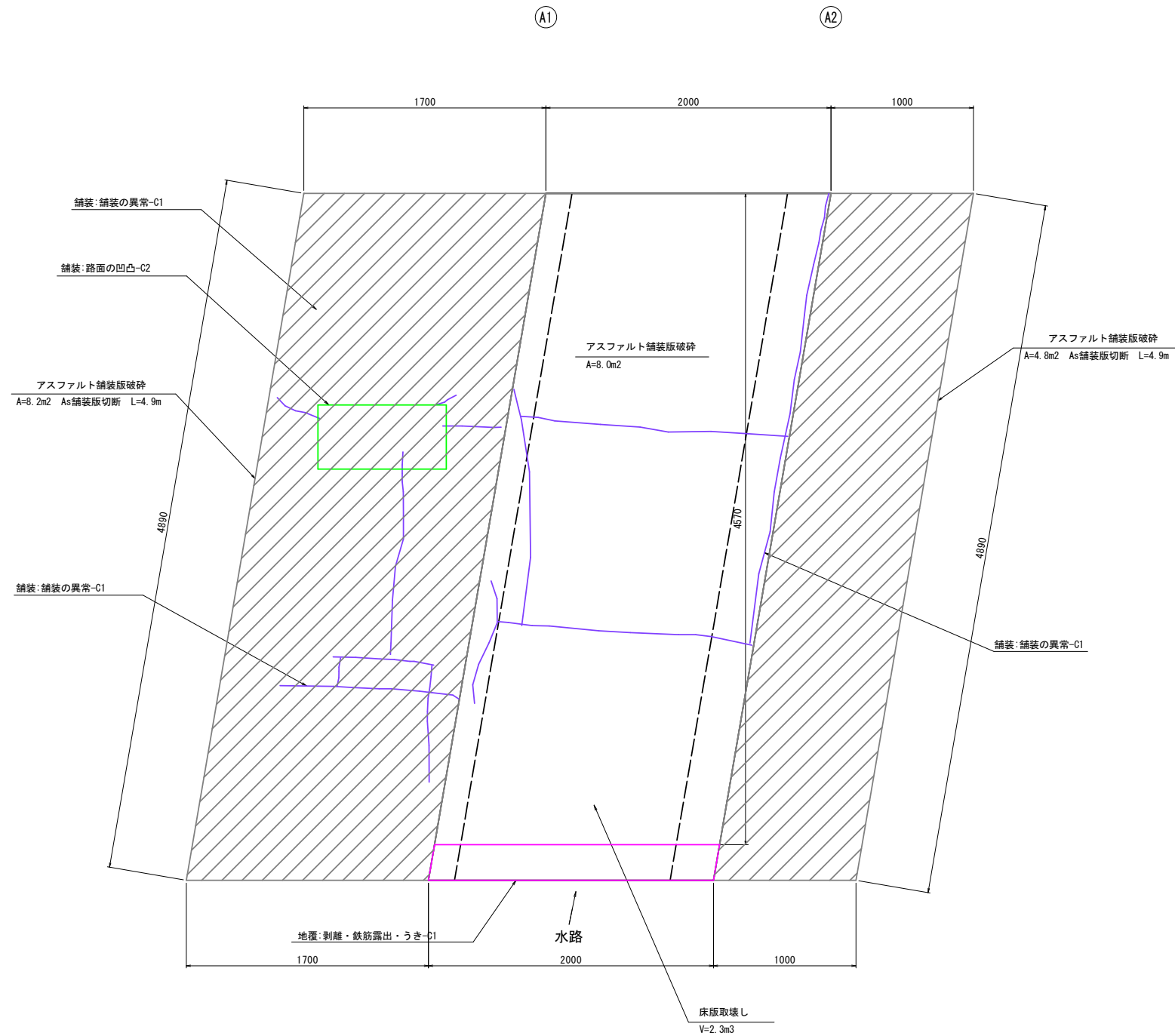
図面番号	4 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(2)	番号	2 / 2
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福山市</b>			



## 新漕6号線5号橋 補修図(その2) S = 1:20

この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。

橋面  
平面図



注記) 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後施工を行うこと。  
床版工は、掛替を行うため補修数量を計上しない。

凡例

	アスファルト舗装 W(m) x L(m)

図面番号	5 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修詳細図	番号	1 / 1
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福山市</b>			

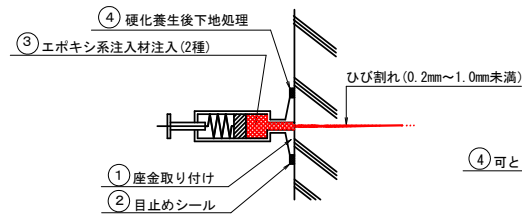


この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。

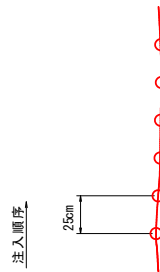
## 新漕6号線5号橋 補修詳細図

### ひび割れ補修工

#### ひびわれ注入工

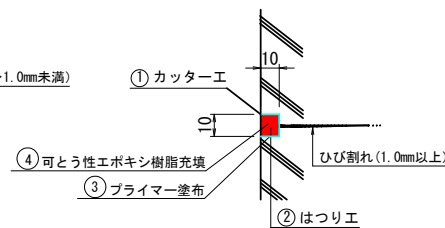


#### 注入器具取付間隔

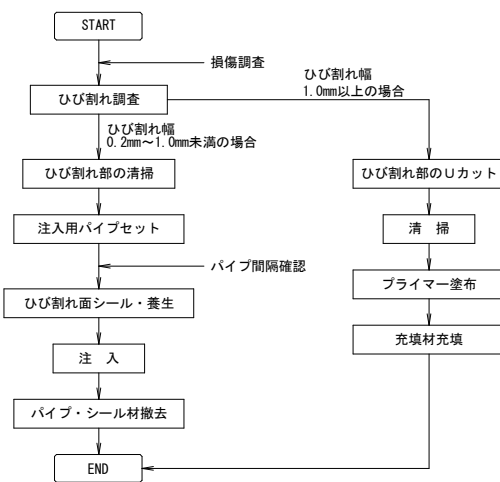


注) 現場の状況によってピッチを変えるものとする。

#### ひびわれ充填工



#### 施工フロー



- 注) 1. ひび割れ注入工はひび割れ幅0.2mm~1.0mm未満のひび割れに対して行うこと。  
 2. ひび割れ充填工は、ひび割れ幅1.0mm以上のひび割れに対して行うこと。  
 3. 施工箇所や延長については、施工時においてコンクリート表面を清掃したうえで再調査を行い決定すること。

#### ひび割れ注入材料品質規格

日本コンクリート工学会「コンクリートのひび割れ調査・補修補強設計指針2013」

項目	単位	エポキシ樹脂注入材2種
ひび割れ幅	mm	0.2~5.0mm
粘度	Pa·S	4±1
可使用時間	分	30以上
硬化時間	時間	16以内
硬化収縮	%	0.1以内
伸び率	%	50以上
モルタル付着強さ(乾燥面)	N/mm2	6以上
付着力耐久性保持率	%	60以上

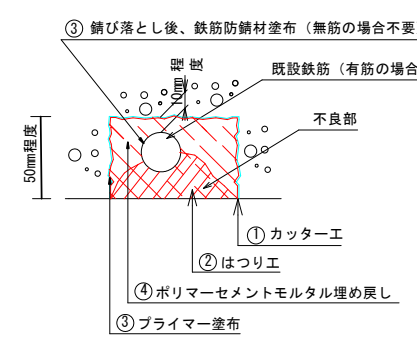
#### ひび割れ充填材料品質規格

国土交通省「建築改修工事監理指針平成16年」品質基準(案)

項目	単位	可とう性エポキシ樹脂充填材
比重		1.30±0.10
押し出し性	秒	60以下
スランプ	mm	3以下
加熱減量	%	5以下
常温特性	引張強さ	N/mm2
	伸び	%
低温特性	引張強さ	N/mm2
	伸び	%
接着性	引張強さ	N/mm2
	破断時の伸び	%
流動性	引張強さ	N/mm2
	伸び	%

### 断面修復工

#### 左官工法



- 注) 1. 施工箇所や範囲については、施工時において再調査のうえ決定すること。  
 2. 鉄筋の裏側まで十分にはつき出し、鉄筋の錆落とし、清掃及び防錆材の塗布を行ったのちに、断面を修復すること。

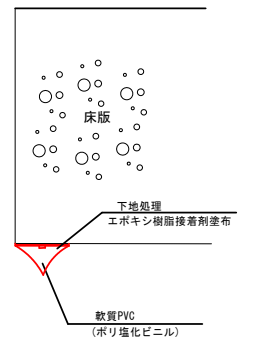
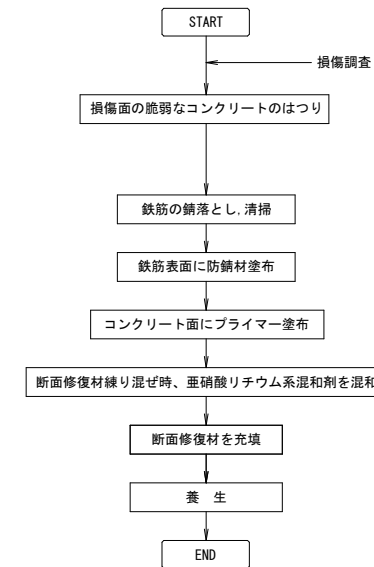
#### 断面修復材の品質規格

構造物施工管理要領 NEXCO H25.7

試験項目	試験体の履歴条件	基準値	試験方法
硬化時間	-	断面修復材の固化時間は1時間以上であること	JIS A1147
断面修復材の外觀(塗装無し)	湿冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれのないこと	JIS A6909
硬化収縮性	-	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること 硬化に伴う発熱により反りかえりが無いこと	JIS A1129-3
熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は2.0×10 <sup>-6</sup> /℃以下であること	JIS K6911
コンクリートとの付着性	湿潤時 耐アルカリ性試験後 湿冷繰り返し試験後	コンクリートと断面修復材との付着強度は、1.5N/mm <sup>2</sup> 以上であること	JIS A6909
塗装塗膜との付着性	湿冷繰り返し試験後	塗膜と断面修復材との付着強度は、1.0N/mm <sup>2</sup> 以上であること	JIS A1108
圧縮強度	-	強度(24N/mm <sup>2</sup> )以上であること	JIS A1108
流動性*	-	使用する材料の規格値以内	JISCE-F541-2010

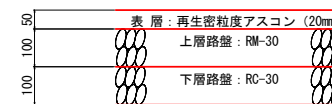
\* 流動性は、注入工法で使用する材料に適用する(J14漏斗落下時間)。

#### 施工フロー

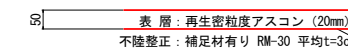


### 水切り

#### 舗装工 S=1:10



プライムコート (PK-3)



プライムコート (PK-3)

# 参 考 图 书

# 施工単価表



# 施工単価表

床版据付工  
床版 750kg ~ 1000kg未満

V0001

単第0 -0001 表

10

枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.13	人			
特殊作業員	0.25	人			
普通作業員	1	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	0.25	日			
床版 T-20 L2013×B1000×t200, アンカー穴	10	枚			参考質量946kg
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

# 施工単価表

床版据付工  
床版 1250kg ~ 1500kg未満

V0002

単第0 -0002 表

10

枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.15	人			
特殊作業員	0.29	人			
普通作業員	1.18	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	0.29	日			
床版 T-20 L2013×B1540×t200, アンカー穴及び差筋付	10	枚			参考質量1457kg
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

# 施工単価表

頁0 -0016

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK23040118

単第0 -0003 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.41% 労務構成比: 95.01%

材料構成比: 2.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

613.43000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.15%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.81%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	46.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0005 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 20.81%

労務構成比: 71.39%

材料構成比: 7.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,046.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0006 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.91%

労務構成比: 85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,655.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.30%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.61%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		





# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0007 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.13% 労務構成比:

61.92% 材料構成比: 12.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,192.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=12 距離2.5km以下(1.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0008 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

44.86%

材料構成比:

55.14%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,616.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0009 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,042.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		



# 施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)  
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0011 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
ひび割れ注入材 可とう性注入用・揺変性エポキシ樹脂 ボンドE2420D相当品	0.004	kg			3kg/セット
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂系パテ状シール材 ボンドE390相当品	0.043	kg			6kg/セット
ひび割れ注入器具 低圧注入器具	2.000	個			100セット/ケース
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=4 【F】注入材(kg) C=5 【F】シール材(kg) E=6 【F】低圧注入器具(個)			B=0.004 D=0.0315 F=2		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)



# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK23040232

単第0 -0013 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.87%

労務構成比:

15.24%

材料構成比:

79.89%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,146.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.95%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.54%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.50%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.01%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.46%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK23040232

単第0 -0013 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.87% 労務構成比: 15.24%

材料構成比: 79.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,146.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30~0mm	78.14%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.44%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					



# 施工単価表

不陸整正

SPK23040231

単第0 -0014 表

補足材料有り RM-30

補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満

1

m2 当り

機械構成比: 17.19%

労務構成比:

47.74%

材料構成比: 35.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

166.21000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	8.38%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	6.64%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	30.18%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	9.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	6.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
再生粒度調整碎石 30~0mm	28.88%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00010 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.19%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0015 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.05%

労務構成比:

31.45%

材料構成比:

58.50%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

555.97000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.02%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.18%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0015 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.05%

労務構成比:

31.45%

材料構成比:

58.50%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

555.97000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	54.88%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0016 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.63%

労務構成比:

10.57%

材料構成比: 87.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,536.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.16%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.12%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0016 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.63%

労務構成比: 10.57%

材料構成比: 87.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,536.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	79.45%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.66%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0017 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0018 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		











# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0023 表

小型構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 44.86%

材料構成比: 55.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,616.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		









# 施工単価表

舗装版切断

SPK23040306

単第0 -0027 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.05%

労務構成比:

55.50%

材料構成比: 38.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

580.65000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.09%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	35.21%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0029 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,135.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0030 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比: 42.40%

材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,832.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

# 施工単価表

殻運搬 SPK23040152 単第0 -0031 表  
 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離2.5km以下(1.5km超) 1 m3 当り  
 機械構成比: 19.19% 労務構成比: 71.06% 材料構成比: 9.75% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,702.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=10 運搬距離2.5km以下(1.5km超)		

# 数量計算書

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
橋梁修繕工事（新漕6号線5号橋）								
橋梁保全工事								
	橋梁床版工							
		床版取替工						
			床版取替	床版据付 床版 750kg～1000kg未満 L2013×B1000×t200、アンカー穴	枚	3	3	
				床版据付 床版 1250kg～1500kg未満 L2013×B1540×t200、アンカー穴及び差筋付	枚	1	1	
				ゴム支承 クロロプレンゴム 単層 t=20mm	m2	2.3	2	
				コンクリート削孔（電動ハンマドリル） 削孔深さ30mm以上200mm未満	孔	5	5	
				鉄筋工 SD345_D19 一般構造物 [規] 10t未満	t	0.004	0.004	
	橋台工							
		作業土工						
			床掘り	土砂 上記以外（小規模）	m3	1.8	2	
			埋戻し	土砂 上記以外（小規模）	m3	0.9	0.9	
			土砂等運搬	小規模 土砂 D1D区間無し 運搬距離2.5km以下（1.5km超）	m3	0.8	0.8	
			残土等処分	リサイクルプラント搬入	m3	0.8	0.8	
		橋台嵩上工						
			橋台嵩上	コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	m3	1.0	1	
				型枠 一般型枠 小型構造物	m2	7.5	8	
				鉄筋工 SD345_D16 一般構造物 [規] 10t未満	t	0.007	0.007	
				コンクリート削孔（電動ハンマドリル） 削孔深さ30mm以上200mm未満	孔	18	18	
				あと施工アンカー 樹脂系	本	18	18	
	橋梁補修工							
		ひび割れ補修工						
			ひび割れ充填工	ひび割れ補修工（充てん工法） 補修延べ延長20m未満の場合	構造物	1	1	
			ひび割れ注入工	ひび割れ補修工（低圧注入工法） 補修延べ延長25m未満の場合	構造物	1	1	
		断面修復工						
			左官工法	断面修復工（左官工法） （鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） 修復延べ体積0.1m3未満の場合	構造物	1	1	
	舗装工							
		舗装打換え工						
			下層路盤	全仕上厚100mm 1層施工 RC-30	m2	2.7	3	
			不陸整正	補足材料有り RM-30 平均厚さt=29mm以上34mm未満	m2	10.3	10	
			上層路盤	全仕上厚100mm 1層施工 RM-30	m2	2.7	3	
			表層	平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm 再生密粒度アスファルト混合物（20）PK-3	m2	13.0	13	





## 数量計算書

### 1. 床版取替工

(1) 床版 T-20

① L2013×B1000×t200, アンカー穴

$$N = \underline{3 \text{ 枚}}$$

② L2013×B1540×t200, アンカー穴及び差筋付

$$N = \underline{1 \text{ 枚}}$$

(2) 支承材

① ゴム支承t=20

$$A = 2.3 = \underline{2.3 \text{ m}^2}$$

② コンクリート削孔 削孔深さ190mm

$$N = \underline{5 \text{ 孔}}$$

③ アンカー筋 D19-L360

$$W = 4.050 \text{ kg} = \underline{0.004 \text{ t}}$$

### 2. 橋台工

$$L = 4.606 \times 2 = \underline{9.2 \text{ m}}$$

① 床掘り

$$V = 1.8 = \underline{1.8 \text{ m}^3}$$

② 埋戻し

$$V = 0.9 = \underline{0.9 \text{ m}^3}$$

③ 発生土運搬・処理

$$V = 1.8 - 0.9 / 0.9 = \underline{0.8 \text{ m}^3}$$

④ コンクリート ( $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$ )

$$V = 1.0 = \underline{1.0 \text{ m}^3}$$

⑤ 型枠

$$A = 7.5 = \underline{7.5 \text{ m}^2}$$

⑥ 差筋 単位質量 1.56kg/m

D16 SD345

$$W = 7.301 \text{ kg} = \underline{0.007 \text{ t}}$$

⑦ コンクリート削孔 削孔深さ130mm

$$N = \underline{18 \text{ 孔}}$$

⑧ あと施工アンカー

樹脂系 アンカーD16用

$$N = \underline{18 \text{ 本}}$$

### 3. ひび割れ補修工

#### (1) ひび割れ充填工(エポキシ樹脂系)

ひび割れ補修工集計表から、1.0mm以上のひび割れの数量より計上

$$L = \underline{0.30 \text{ m}} \quad \text{単位質量 } 1300\text{kg/m}^3 \quad \text{ロス率 } 1.20$$

$$W = \frac{1300 \times 0.010 \times 0.010 \times 0.30 \times 1.20}{\text{幅 (m)} \quad \text{深さ (m)} \quad \text{延長 (m)}} = \underline{0.047 \text{ kg}}$$

#### (2) ひび割れ注入工(エポキシ系注入材2種)

##### ①ひび割れ延長

ひび割れ補修工集計表から、0.2mm以上1.0mm未満のひび割れの数量より計上

$$L = \underline{0.33 \text{ m}}$$

##### ②シール材

シール材幅b=30.00mm シール厚t=2mm と仮定する。

単位質量 1600kg/m<sup>3</sup> ロス率 1.37

$$W = \frac{1600 \times 0.33 \times 0.030 \times 0.002 \times 1.37}{\text{延長 (m)}} = \underline{0.043 \text{ kg}}$$

##### ③注入材

エポキシ系注入材2種

単位質量 1150kg/m<sup>3</sup> ロス率 1.4

注入深さ 0.2×200=40mm 平均注入幅 0.2mm の注入量

注入器設置間隔 a=250mm

注入器設置数

$$N = \frac{0.33}{0.25} = \underline{2 \text{ 個}}$$

$$\text{注入量 } W = \frac{1150 \times 0.04 \times 0.00020 \times 0.33 \times 1.40}{\text{深さ (m)} \quad \text{延長 (m)}} = \underline{0.004 \text{ kg}}$$

### 4. 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル 左官工法)

#### (1) はつり工 (はつり深さ50mm程度)

断面修復工集計表より、浮き・剥離の数量を計上

$$A = \underline{1.14 \text{ m}^2}$$

$$V = \underline{0.057 \text{ m}^3}$$

#### (2) 復旧工

断面修復工集計表より、浮き・剥離の数量を計上

ロス率 1.18

$$A = \underline{1.14 \text{ m}^2}$$

$$V = 0.057 \times 1.18 = \underline{0.067 \text{ m}^3}$$

## 5. アスファルト舗装

アスファルト舗装工

下層路盤工 RC-30 t=10cm

$$A = 2.7 \quad = \underline{2.7 \text{ m}^2}$$

不陸整正工 RM-30 t=3cm程度

$$A = 13.0-2.7 \quad = \underline{10.3 \text{ m}^2}$$

上層路盤工 RM-30 t=10cm

$$A = 2.7 \quad = \underline{2.7 \text{ m}^2}$$

表層工 再生密粒度As (20) t=5cm

$$A = 8.2+4.8 \quad = \underline{13.0 \text{ m}^2}$$

## 6. 橋梁付属物工

(1) 水切

$$L = 1.5 + 1.5 \quad = \underline{3.0 \text{ m}}$$

(2) 地覆コンクリート

$$L = \underline{2.0 \text{ m}}$$

① コンクリート ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )

$$V = 0.2 \quad = \underline{0.2 \text{ m}^3}$$

② 型枠

$$A = 1.2 \quad = \underline{1.2 \text{ m}^2}$$

③ 鉄筋 単位質量 0.995kg/m

D13

$$W = 9.572 \text{ kg} \quad = \underline{0.010 \text{ t}}$$

③ 鉄筋 単位質量 1.56kg/m

D16

$$W = 12.823 \text{ kg} \quad = \underline{0.013 \text{ t}}$$

### 7. 橋台取り壊し工

無筋コンクリート

$$V = (0.20 + 0.257) / 2 \times 0.30 \times 4.540 \times 2 = \underline{0.6 \text{ m}^3}$$

橋台

### 8. 床版取り壊し工

鉄筋コンクリート

$$V = 2.3 = \underline{2.3 \text{ m}^3}$$

### 9. As舗装版切断

$$L = 4.9 + 4.9 = \underline{9.8 \text{ m}}$$

### 10. アスファルト舗装版取り壊し工

厚さ5cm

$$A = (13.0 + 8.0) = \underline{21.0 \text{ m}^2}$$

$$V = 21.0 \times 0.05 = \underline{1.1 \text{ m}^3}$$

### 11. 運搬処理工

#### (1) Co殻運搬

はつり殻(無筋), 橋台

$$V = \underline{0.7 \text{ m}^3}$$

#### (2) Co殻運搬

床版

$$V = \underline{2.3 \text{ m}^3}$$

#### (3) As殻運搬

$$V = \underline{1.1 \text{ m}^3}$$

#### (4) Co殻処分

無筋

$$W = 0.7 \times 2.35 = \underline{1.6 \text{ t}}$$

Co単位重量(無筋)

#### (5) Co殻処分

鉄筋

$$W = 2.3 \times 2.50 = \underline{5.8 \text{ t}}$$

Co単位重量(鉄筋)

#### (6) As殻処分

$$W = 1.1 \times 2.35 = \underline{2.6 \text{ t}}$$

As単位重量(密粒)

ひび割れ補修工集計表

位 置	番 号	ひび割れ長さ (m)		
		0.2mm未満	0.2mm以上 1.0mm未満	1.0mm以上
橋台 (A1)	1		0.33	
	2			0.30
小 計			0.33	0.30
小 計				
小 計				
小 計				
合 計			0.33	0.30

断面修復工集計表

位置	番号	寸法 (m×m)	補修面積 (m <sup>2</sup> )	補修深さ (m)	補修体積 (m <sup>3</sup> )
橋台(A1)	1	2.10 × 0.20	0.420	0.050	0.0210
	2	0.90 × 0.40	0.360	0.050	0.0180
小 計					
橋台(A2)	1	0.90 × 0.20	0.180	0.050	0.0090
	2	1.80 × 0.10	0.180	0.050	0.0090
小 計					
合 計			1.140		0.057

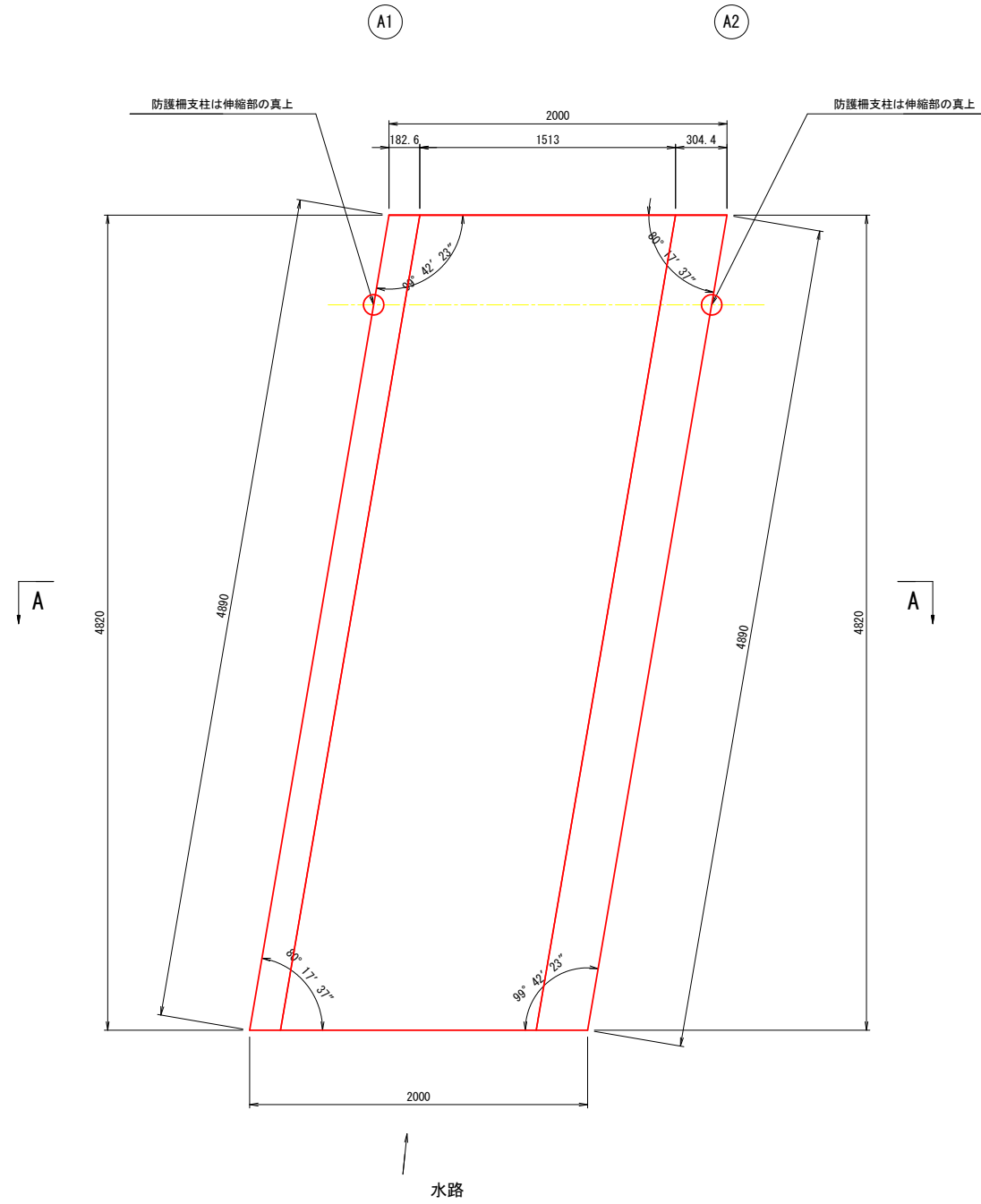
図面番号	1 / 4	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	参考図 (一般図)	番号	1 / 2
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福山市</b>			



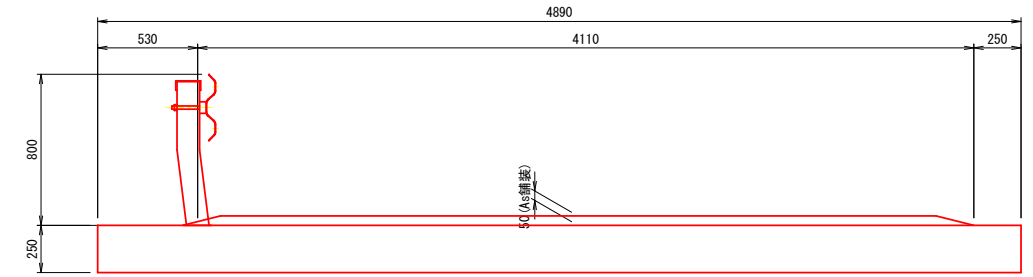
# 新漕6号線5号橋 一般図(その1) S = 1:20

この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。

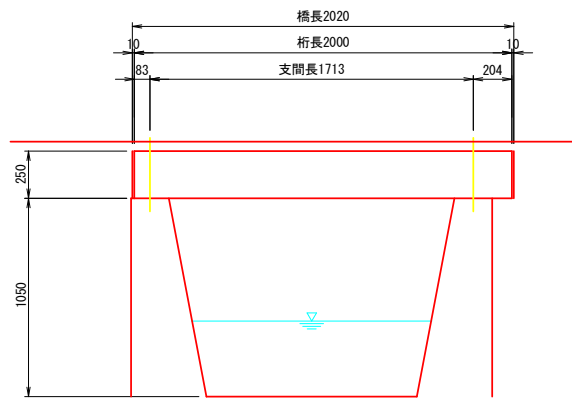
平面図



断面図



A-A





図面番号	2 / 4	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	参考図(一般図)	番号	2 / 2
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福山市</b>			

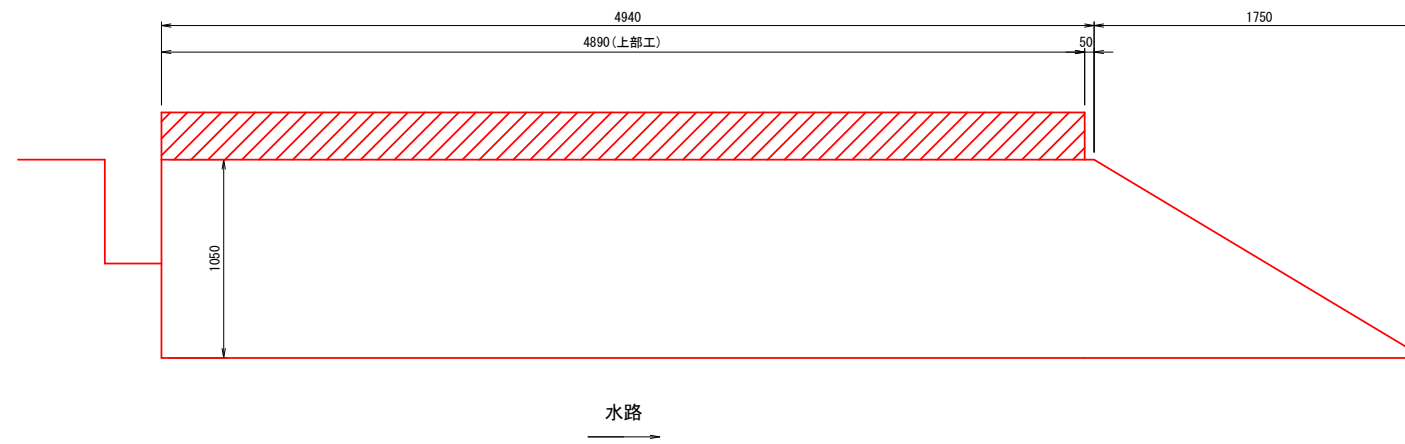


新漕6号線5号橋 一般図(その2) S = 1:20

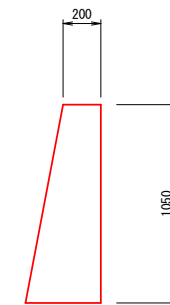
この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。

A1橋台

正面

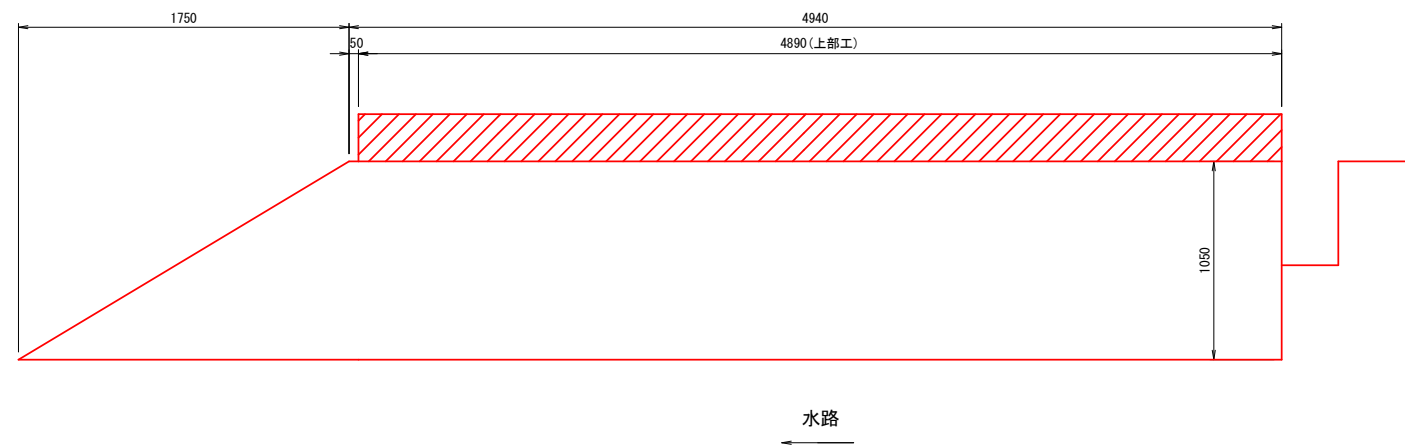


側面

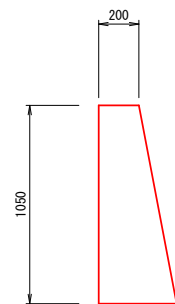


A2橋台

正面



側面



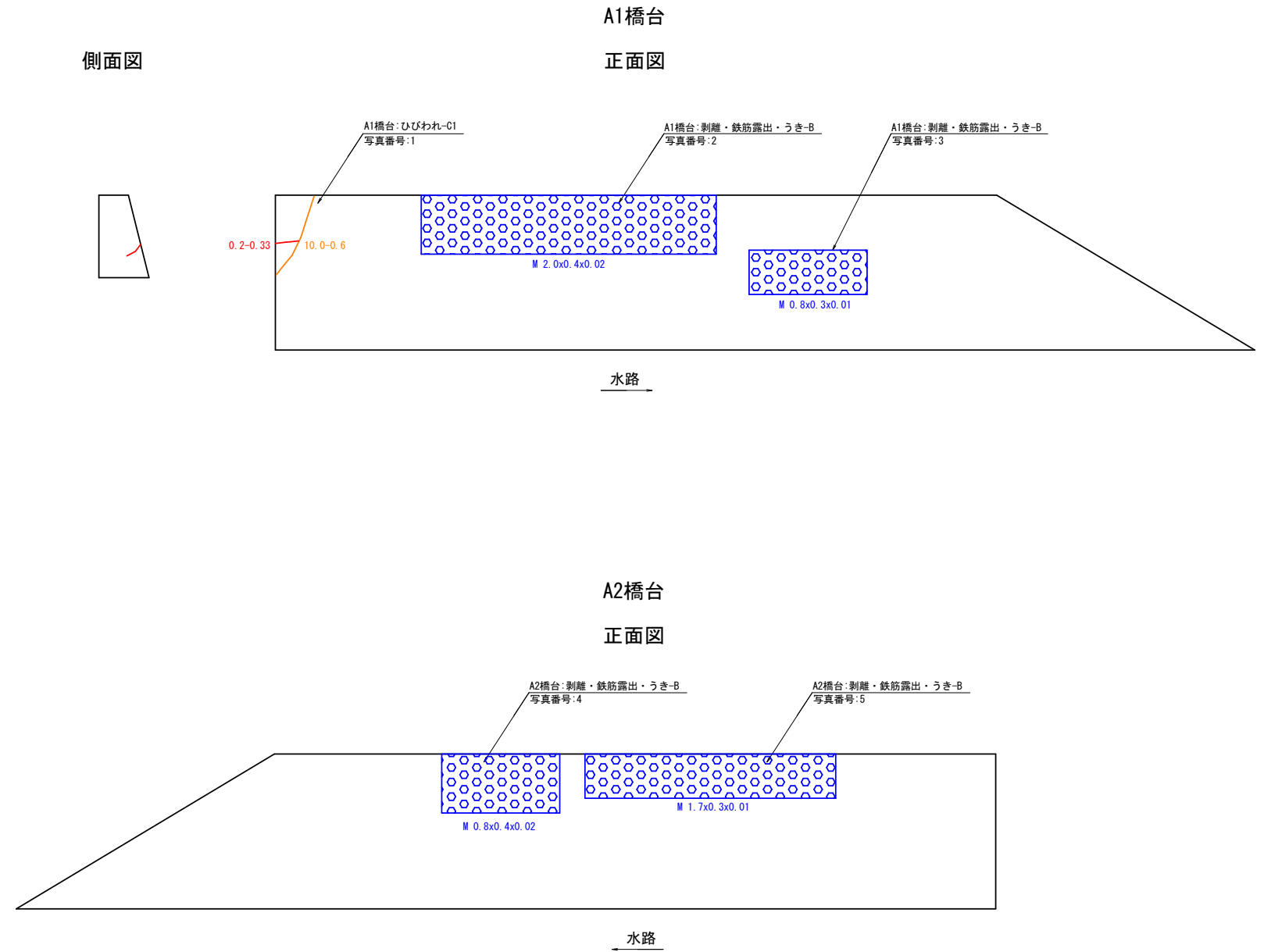
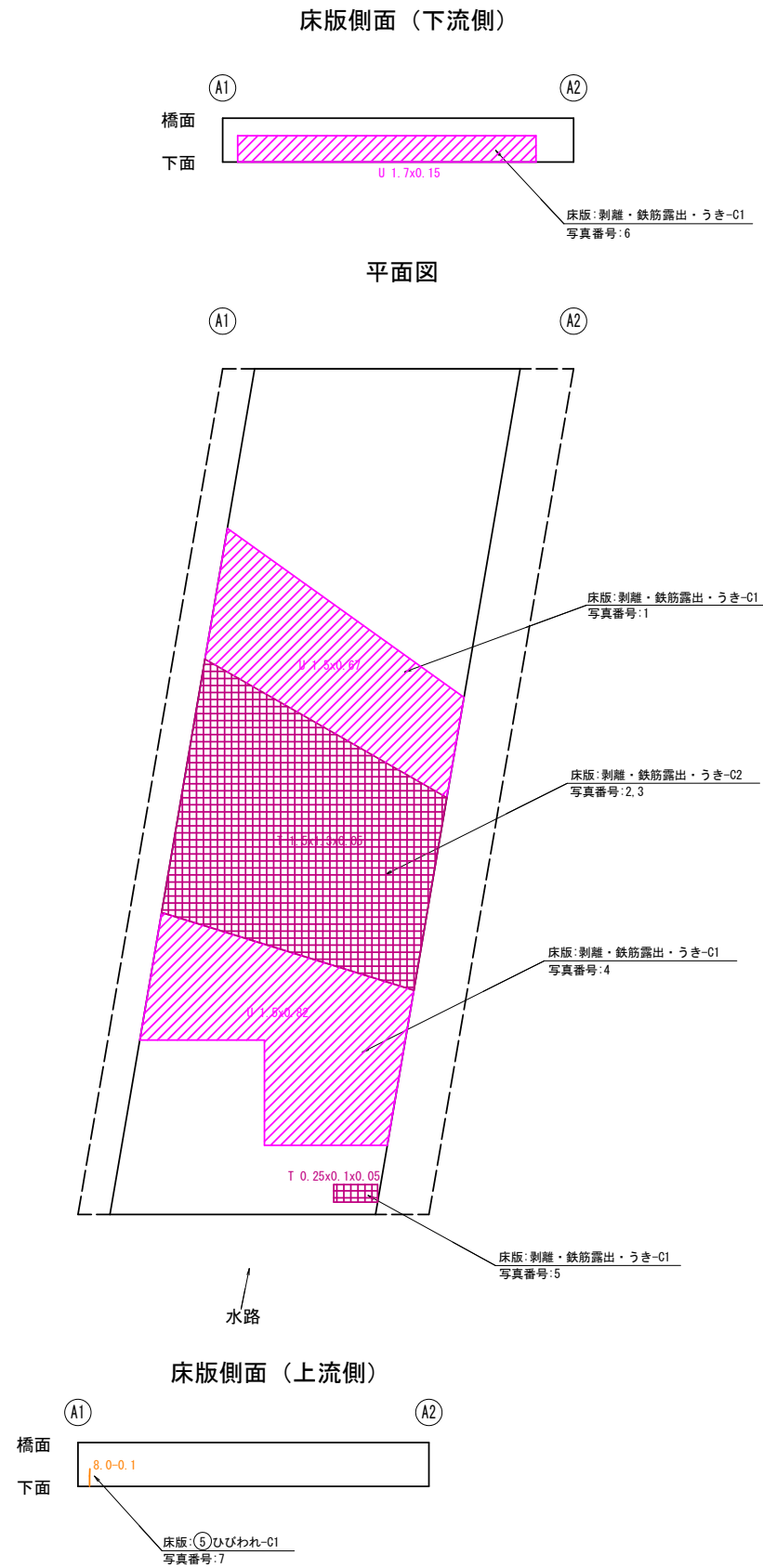
図面番号	3 / 4	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	参考図(損傷図)	番号	1 / 2
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福山市</b>			



この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。

## 新漕6号線5号橋 損傷図(その1) S = 1:20

表示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剝離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修跡



図面番号	4 / 4	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	参考図(損傷図)	番号	2 / 2
路線名	新漕6号線5号橋		
工事箇所	福山市新漕町二丁目地内		
<b>福山市</b>			



この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。

## 新漕6号線5号橋 損傷図(その2) S = 1:20

表示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剝離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修跡

橋面  
平面図

